

Scope 42

名城大学理工学部後援会 会報誌 **スコープ** 2015

赤崎勇終身教授 2014年ノーベル物理学賞受賞！

21世紀型自然災害リスク軽減への挑戦
理工ロマンの旅 VOL.3 ラジオ



Meijo University
Faculty of Science and Technology.
Supporters' Association.



Scope 42

名城大学理工学部後援会 会報誌 **スコープ** 2015

平成27年6月1日発行

[編集] 名城大学理工学部後援会

[制作・印刷] 株式会社ブリアートコーポレーション

[発行] 名城大学理工学部後援会

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

Tel 代表 052-832-1151 (内線 2580)

Tel・Fax 直通 052-831-9214

E-mail jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

<http://www.meijo-rikokoen.jp>

名城大学理工学部後援会

◀ 検索

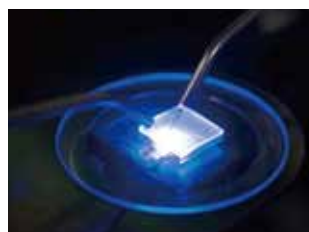
赤崎勇終身教授 2014年 ノーベル物理学賞受賞！



2014年12月10日ノーベル賞授賞式 中央は赤崎勇終身教授 Copyright © Nobel Media AB 2014 Photo: Alexander Mahmoud

Scope 42

名城大学理工学部後援会 会報誌 スコープ 2015



もくじ

- 01 赤崎勇終身教授
2014年ノーベル物理学賞受賞！
 - 05 21世紀型自然災害リスク軽減への挑戦
 - 07 理工学部11学科の学びと
教養教育のご紹介
 - 13 理工ロマンの旅VOL.3
よみがえる少年の頃の思い ラジオ
 - 15 名城大学理工学部OBインタビュー
 - 16 JABEE認定プログラム
 - 17 柄澤照文さんの名城大学スケッチ散歩
 - 19 思いやりの心が『マナー』につながる
 - 20 理工学部後援会の活動
フレッシュマンセミナー
ご父母のための進路セミナー
理工学部からはたく卒業生インタビュー
学生奨励表彰式
理工学部地区懇談会
家庭教育支援セミナー
その他の活動紹介
- こんにちは。名城大学理工学部後援会事務局です。



赤崎勇名城大学終身教授は、自身の研究論文の中など機会あるごとに青色LEDの第一人者は赤崎終身教授であると伝え続け、「ノーベル賞を確信していた」とか。ストックホルムでの師弟写真(左11)が、チームの誇りを物語っています。

赤崎研究室出身の上山教授らは、自身の研究論文の中など機会あるごとに青色LEDの第一人者は赤崎終身教授であると伝え続け、「ノーベル賞を確信していた」とか。ストックホルムでの師弟写真(左11)が、チームの誇りを物語っています。

ノーベル賞授賞式までの3日間をレポート(写真右ページ)

- 2014年12月8日、スウェーデンのストックホルム大学講堂で開かれた赤崎終身教授のノーベルレクチャー
- 講演終了後、スタンディングオベーションを送る会場を埋めつくした市民や若い研究者、学生たち
- 受賞者3人はノーベルコンサートに出席。ベートーベンの交響曲第7番などが演奏され、ほっとできるひとときを過ごしました
- 12月9日、ノーベル博物館を子弟訪問。サインした椅子(歴代受賞者が署名するのが慣例)を掲げる赤崎終身教授と天野教授
- 授賞式会場(ストックホルムコンサートホール)前のビルに浮かび上がった、赤崎終身教授のプロジェクションマッピング
- 12月10日、ノーベル賞授賞式にて、カール16世グスタフ・スウェーデン国王からメダルとディプロマ(証書)を受け取る赤崎終身教授
- ノーベル賞授賞式。「すばらしい授賞式で、本当に感動しました」と赤崎終身教授は喜びを語りました
- 授与されたメダルを掲げて撮影に応じる赤崎終身教授、天野教授、中村教授
- 赤崎終身教授は授賞式後、家族とともに市庁舎の「ブルーホール」で開催された晩さん会に出席。あらためて祝福を受けました
- 夜のストックホルム市内にて、美しく青色に輝く晩さん会場の市庁舎
- 赤崎終身教授に随行して一緒にストックホルム入りした(後列左から)上山智教授、竹内哲也准教授、岩谷素顕准教授(写真上)



pn接合型窒化ガリウム系青色LEDの写真を見せながら、発明した経緯を語る赤崎終身教授。



青色LEDから白色光源を作る原理を説明する池上特別講師。



天野教授は「青色LEDも発明から社会に役立つまで約30年かかっている。何かするには我慢も大切」と語る。



赤崎終身教授、天野教授、池上特別講師によるパネルディスカッション。



「学生からの質問コーナー」では、事前に653件の質問が寄せられた。



講演を終え、在学生から感謝の花束を受け取る(左から)池上特別講師、赤崎終身教授、天野教授。

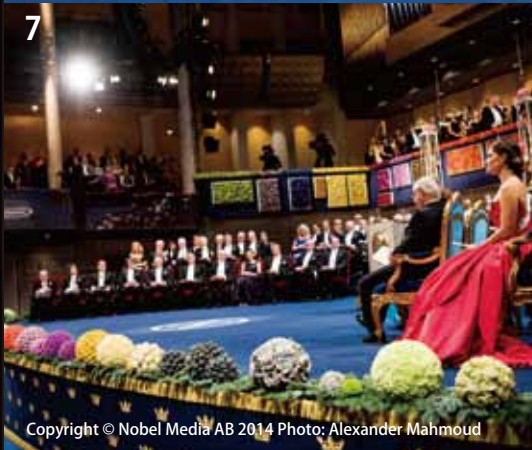
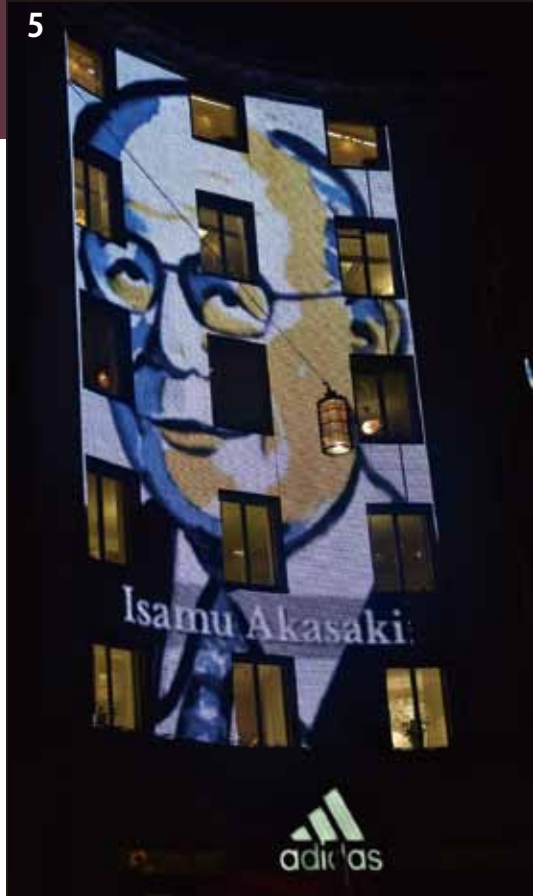


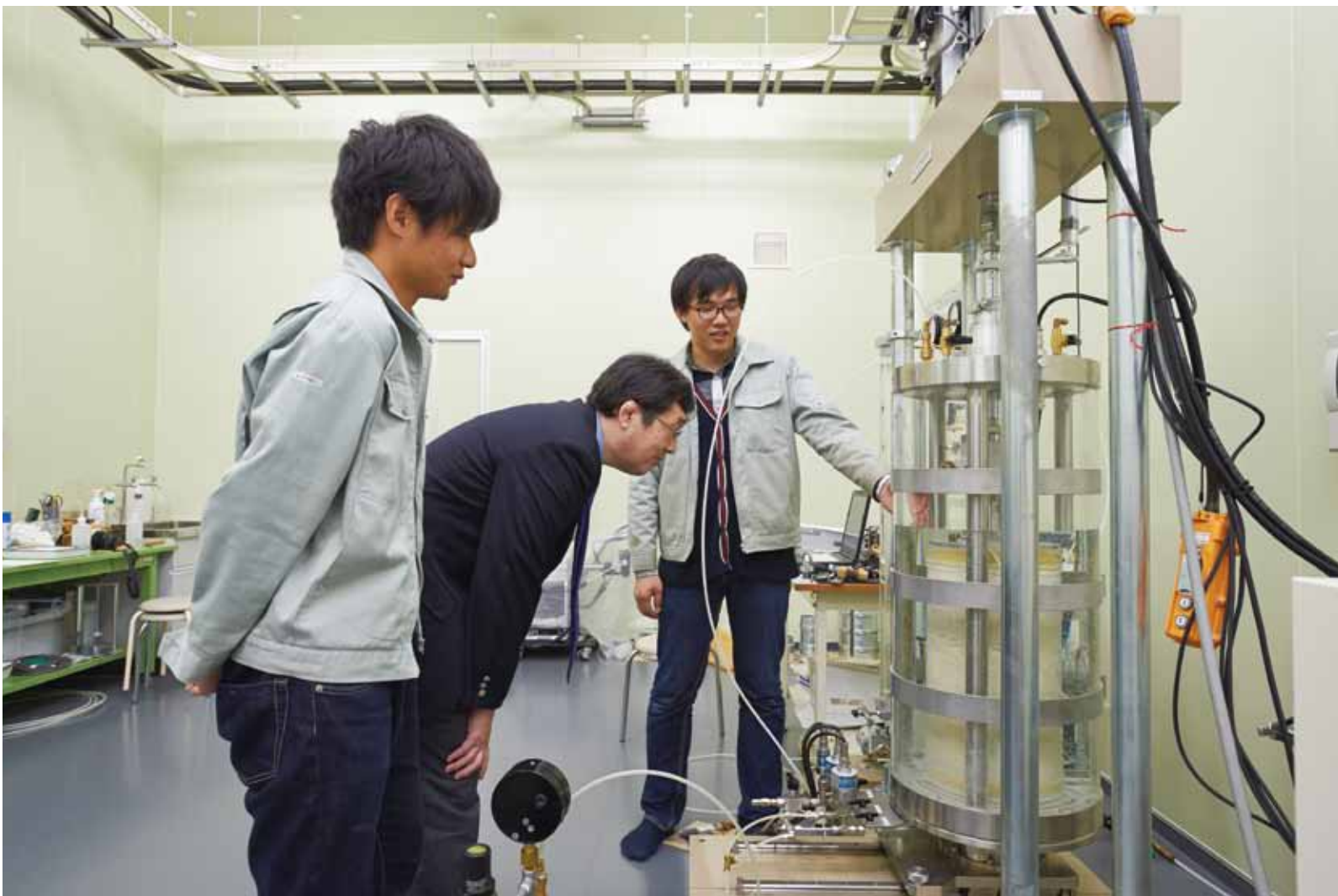
感動の講演を聴き終え、「教員」となるといいう夢に向かう希望が持てたと語る数学科4年生の皆さん。

世界を照らす 新しい光 名城大学 ノーベル賞受賞記念講演会

赤崎勇終身教授と天野浩元名城大学教授の2014年ノーベル物理学賞受賞を記念した講演会が、2015年4月25日の土曜日に名城大学天白キャンパスの共通講義棟北「名城ホール」で開催されました。池上彰特別講師も加わった講演会には、在学生、附属高等学校生徒など約1600人が参加。「青色発光に魅せられて」を題目とする赤崎終身教授の講演から始まりました。

この講演会へは学部を超えた学生たちが聴講にきました。●農学部「やりたいことに『のめりこむ』この言葉が強く心に響いた。公務員試験がんばります！」●経営学部「研究を続けていく過程の説明がおもしろかった。こんな機会を設けてくれた大学に感謝」●法学部「あのお二人に直接会えるなんて一生にあるかないかの出来事。『気がついたら研究者』という言葉に惹かれた。興味のあることにチャレンジしたい」●経済学部「池上先生は思っていたよりフレンドリーでお茶目」●理工学部数学科「正規の教員に1年ではなるのはなかなか難しいので、もう一つ何か目標を持たなければいけないのだろうか」と悩んでいたが、「一つの夢に向かうことをきっぱりと決断できた」皆さん、それぞれに感銘を受けた様子で、講演会後のキャンパスでは熱く語り合う姿があちこちで見られました。





名城大学 自然災害リスク軽減研究センター

平成24年度、名城大学が文部科学省に提案していた「21世紀型自然災害のリスク軽減に関するプロジェクト」が私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として採択され、その実施母体として発足しました。

<http://ndrr.meijo-u.ac.jp/>

心配される地震やゲリラ豪雨などからのダメージを軽減するために

古くから人は、自然の恵みを享受しつつ、自然がもたらす災害に翻弄されてきました。ことに近年、地震や豪雨などの脅威を身近に感じるが多くなっています。

こうした中で、迫り来る地震災害や頻発する水害・土砂災害を研究対象とし、社会資本の老齢化や被災者の自律再建などの視点も取り入れた研究テーマに取り組んでいるのが、理工学部 社会基盤デザイン工学科の小高猛司教授をセンター代表とする「名城大学 自然災害リスク軽減研究センター」です。

社会に還元できる研究を進め、継続的に研究成果を発信し続ける

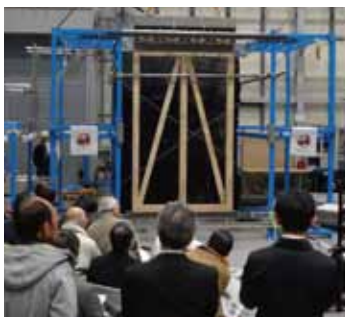
センターでは主に、左ページにある5つのテーマについての研究を進めています。研究成果は各方面の学術雑誌に論文発表しているほか、センターの中間報告書をまとめてホームページで公開しています。また、昨年は地域の防災力向上を柱とする連携・協力協定を名城大学と国土交通省中部地方整備局が締結したことにより、センターの研究成果を地域防災に役立てる機会が益々増えています。協定締結記念のフォーラムが開催されたほか、センター独自の講演会も定期的に行っています。

行政や企業と連携しつつ、さらなる「進化」を目指すセンター

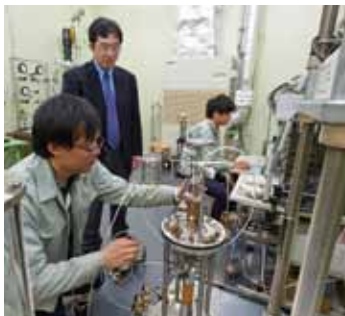
文部科学省の支援事業としての期間は平成24～28年度の5カ年ですが、積み重ねた研究成果や充実した設備を活用し、期間終了以降も防災・減災研究の拠点として、センターを継続・発展させていく予定です。すでに行政や企業からの大規模実験依頼や共同研究に関する問い合わせは多く寄せられています。昨年、広島で起きた土砂災害で現地調査も行った小高教授は、センターの重要性がますます高まっていると実感するとともに、研究により「層の力を注いでいきたいと思います。今後も各テーマの研究成果が期待されるところです。」

※ホームページ⇓研究成果⇓出版物(研究成果報告書)⇓中間報告書ダウンロード

21世紀型自然災害リスク軽減への挑戦



木質住宅の耐震性能に関する公開実験／3次元震動台を用いて建築物の耐震性能を向上させる数多くの実験をしています。一般公開実験もしています(不定期)。



地盤材料試験装置／学生たちは「他大学にもない、このように多くの高度な装置を使った研究に参加でき、やりがいがあります!」と手応えを感じている様子。



実験水路／急激な河川水位の上昇によって堤防が決壊する状況を再現し、どのように堤が崩壊していくかのメカニズムを解明する実験などを行います。



信濃川の砂礫／国土交通省と共同で日本全国の河川堤防に関する研究を進めており、取材時は信濃川で採取してきた砂礫の力学試験を行っている最中でした。



構造耐震実験室に整備された構造実験システム／6月開催予定の「ご父母のための進路セミナー」では、大規模実験施設の一部を見学することができます。

連動型巨大地震に対する土木構造物の安全性と修復性の向上に関する研究

巨大地震が発生した時に、高架式の高速道路や長大橋梁が壊れることなく使い続けられるかどうか、その後の復興にも大きく影響します。地震時の橋の揺れを制御して被害を抑えるための装置に制震ダンパーがありますが、本センターでは、大型実験や数値シミュレーションを通して、新素材を使った高機能制震ダンパーを開発してきました。また、既存の橋を効果的に補修・補強する方法の検討や提案も行い、実用化を進めています。

[テーマリーダー] 社会基盤デザイン工学科 葛 漢彬教授

大空間構造物の耐震安全性評価による震災リスクの軽減

阪神大震災後、耐震性向上の取組が進められていますが、特に南海トラフ地震が懸念されている現在、建築構造物の震災リスクの軽減は、普通の建物はもちろん、避難施設やエネルギー関連施設も含めて重要なテーマです。本センターでは、振動実験・調査・コンピュータシミュレーションなどにより、大屋根構造～集合住宅・戸建住宅までを対象とした性能向上に関する研究を実施して、その成果は実際の構造設計にも活用されています。

[テーマリーダー] 建築学科 武藤 厚教授

豪雨および水災事象の発生機構とリスク軽減方策に関する研究

近年頻発しているゲリラ豪雨に対処するため、水害の発生メカニズムの解明と災害リスクの軽減方策を検討しています。まず、豪雨の地域的特徴と出現特性を地球規模の観点から分析するとともに、レーダー情報を活用した雨の降り方や拡がりの検討、都市河川での洪水の観測、川への流出を遅らせる施設の評価を行っています。また、繰り返し発生して土砂災害を引き起こす土石流について、発生のしくみと流れ方を調べる実験を行っています。

[テーマリーダー] 社会基盤デザイン工学科 原田守博教授

水工学―地盤工学の連携による沿岸域低平地の自然災害リスク軽減への挑戦

河川堤防は人の命と財産を守る最重要インフラの1つですが、東日本大震災での甚大な被災や、昨今の豪雨時の決壊によって、その信頼性が揺らいでいます。本センターでは、地震による被災原因の解明をしてきましたが、その成果を使って南海トラフ地震時の堤防の耐震についての検討も始めています。また、豪雨時の堤防強化を目指し、全国各地の堤防土による実験研究を通して、安全性評価手法の見直しを国土交通省と連携して進めています。

[テーマリーダー] 社会基盤デザイン工学科 小高猛司教授

「中核被災者」を主体とした被災限界からの自律再建メカニズムの解明

広域巨大災害後の急激な環境変化の中でも、自ら情報を収集し、自ら社会的ネットワークを活用し、自ら生活や人生を再構築する回復力を追究しています。東北の被災地に滞在し、被災者の協働による避難所や仮設住宅運営の可能性を探ってきました。また、復興事業に依らず、自ら安全な土地を取得し、早期に住宅再建を果たした被災者層に着目し、意思決定や再建行動を明らかにしています。将来の災害に備えた人々の回復力の向上を目指します。

[テーマリーダー] 都市情報学部 柄谷友香教授

主体的に学び、人間性豊かな 人材育成のために。

名城大学理工学部は、89年におよぶ歴史と伝統を持ちます。昨年は本学の赤崎勇先生がノーベル物理学賞を受賞され、本学の研究レベルの高さを国内外に示すこととなりました。本年度は東京・関西圏の受験者も大きく伸びています。ものづくりの盛んな東海エリアで、さらには世界で活躍する人材を育成すべく、平成38年の100周年に向けた理工学部戦略プランも立案・実行中です。ますます進化し続ける名城大学理工学部にご期待ください。



名城大学理工学部 学部長
加鳥 裕明

理工学部

11学科の学びと
教養教育のご紹介

- 数学科
- 情報工学科
- 電気電子工学科
- 材料機能工学科
- 応用化学科
- 機械工学科
- 交通機械工学科
- メカトロニクス工学科
- 社会基盤デザイン工学科
- 環境創造学科
- 建築学科

教養教育

専門教育の基礎固めとしても
より良く生きる上でも不可欠な知識と教養



教養教育長
中山 章宏

教養教育の役割は、2～3年次以降に専門性を深める際の基礎力をつけることに加え、『人としての豊かさ』を育むこともあります。研究に際して、視点を変えることや視野を広げることで研究のヒントをつかむのはよくあること。また将来、社会人として多くの人と交わる上でも、一般教養は不可欠です。教養教育を通じて基礎を養うと共に、積極的に教員に質問するなど、『学ぶ姿勢』も身につけて欲しいと思います。

数学科

世の中のあらゆる場面で求められている
数学に基づいた論理的思考力



学科長
寺西 鎮男

代数学・解析学・幾何学・数理論情報・計算機科学の5分野について系統的に学べるカリキュラムを組んでいます。数学を通して養う論理的思考は様々な場面で役立つため、数学の本質を理解できる人材を求める企業が増え、教職以外の分野での活躍も期待されます。数学は広くて深い学問。本学の大学院には、リタイア後に再び数学の研究を志す社会人学生もいます。ご子息に「数学を学ぶ楽しさ」を聞く機会を設けてはいかがでしょうか。



大西教授自身の専門分野は代数学であり、数論、アーベル関数を研究テーマとして、発展性のあるより良い理論の構築を目指しています。研究室では「わからないことはマイナスではない。そこから新しい扉が開かれる」という考えのもと、学生が主体性を持つて選んだテーマについて次々と質問を投げかけます。師弟が共に問題に向き合い考える、アカデミックな時間が展開されています。

「知りたい」という思いが原動力

情報工学科

産業や社会の様々な分野で
活躍できる情報技術者を育成



学科長
柳田 康幸

現代社会が機能していく上で必要不可欠である情報工学。情報数学、コンピュータ基礎、プログラミングなど情報処理技術の基礎を学んだ上で「情報通信」「情報デバイス」「情報処理」「情報メディア」の少なくともひとつの分野の専門知識を体系的に習得できるカリキュラムを組んでいます。こうした学びと共に自ら考え、行動する力も身につけてください。ご家庭では、日々学び成長するご子弟を温かくお見守りいただければ幸いです。



人の感性を活かしたものづくり



人間の感性やユーザビリティ使いやすさの計測・評価と、それに基づいた製品の研究・開発に取り組んでいます。インターホンシステムの開発ほか企業との共同研究に学生も参加し、スケジュール管理、コスト意識、コミュニケーション能力など実社会で必要なスキルも高めます。海外の研究機関との交流もあり、学生が自主的に英語学習にも取り組むなど、意欲と熱意あふれる研究室です。

電気電子工学科

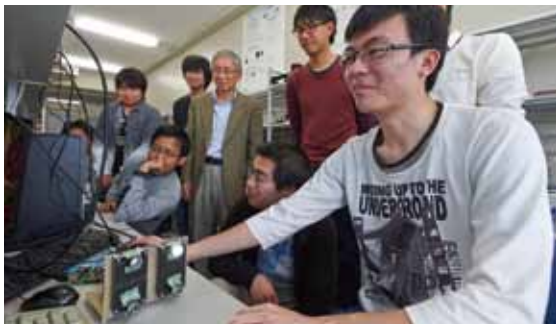
電気電子の基礎の学びを
幅広い分野に応用して活躍できる人材に



学科長
山中 三四郎

太陽光などクリーンエネルギーやスマートフォンなどの身近な電気製品まで、人と暮らしのために電気電子工学の応用がますます重要な時代となっています。本学科では電気電子の基礎を養うと共に、幅広い視野を持ち、様々な分野へ応用できる能力を伸ばします。学部卒業後は多様な分野に就職が可能です。が、社会でより高いレベルの仕事任せられる人材となるためにも、大学院への進学も検討いただきたいと思います。

Pickup 中條 渉 研究室



LED可視光通信のシステム開発

照明に用いるLEDと、カメラのイメージセンサを送受信機とし、産業用マイコンやFPGAと呼ぶ回路を組み込んだ可視光通信技術の開発に力を入れています。可視光は通信の様子を目で直接見ることができ安心です。人体や電子機器に悪影響がなく、病院や工場内でも利用できます。将来は無線通信が可視光に置き換わる可能性も秘めています。ベトナムからの女子留学生も含め、みな目を輝かせ研究に取り組んでいます。



交通機械工学科

交通機械を通して、社会に貢献できる
優れた人材を育成

交通機械に軸足を置きながら、時代の要求に応える「知的ものづくり」のため、ハード面ソフト面とも充実したカリキュラムで機械工学の基礎学力と応用技術を身に付けます。ご承知のように、この東海エリアは自動車や航空宇宙産業において日本をリードする存在であり、卒業生の多くがこうした分野に就職していますが、将来的により上のポジションで活躍するためにも、大学院での能力アップもご検討いただければと思います。



学科長
前川 明寛

機械工学科

自ら考え、積極的に行動できる
創造性豊かなメカニカルエンジニアを育成

熱・流体、材料強度、設計・生産、運動力学、制御の4領域を体系的に学び、設計・実習・実験など充実した実感教育で考え抜く力と実践力を養成。自動車、航空宇宙機器、産業機械、電気機器、医療機器、鉄鋼、などの産業から公務員まで、あらゆる分野で活躍できるメカニカルエンジニアを育成します。知識・技術に加えて創造性や国際感覚も磨いてください。ご家庭では、日常的なコミュニケーションから「ご子息の「自ら考える力」を育んでください。」

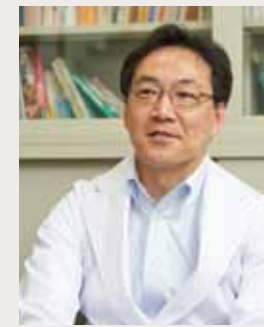


学科長
来海 博央

応用化学科

化学の持つ未知の可能性を拓く
創造性豊かな人材を育成

化学を主役とした環境テクノロジーは、生分解性プラスチック、バイオ燃料、電池材料ほか多彩な製品を生み出し、環境問題の解決に役立っています。本学科では、「合成化学」「物質・材料化学」「環境・エネルギー材料」の3領域を設置し、化学に立脚した学びを展開。平成29年には大学院の設置も予定しており、次世代テクノロジーをさらに発展させる開発のチームリーダーとなり得る技術者の育成を目標に、学びと設備の充実を図っています。



学科長
丸山 隆浩

材料機能工学科

エネルギーなど世界的な問題解決に向け
材料分野の技術者、研究者を養成

本学科では、ノーベル賞で注目されたLEDやカーボンナノチューブなど、未来を切り拓く可能性に満ちた新材料から、機能性材料、生体材料まで、社会に貢献する幅広い領域を学びます。国際的に活躍できる人材育成プログラムを強化し、企業との共同研究の機会にも恵まれているのが特長で、大学院でのさらに充実した研究を含め、実践的な人材を社会へ送り出しています。ご家庭では、進学もふまえてご子息の将来の可能性をお支えください。



学科長
上山 智

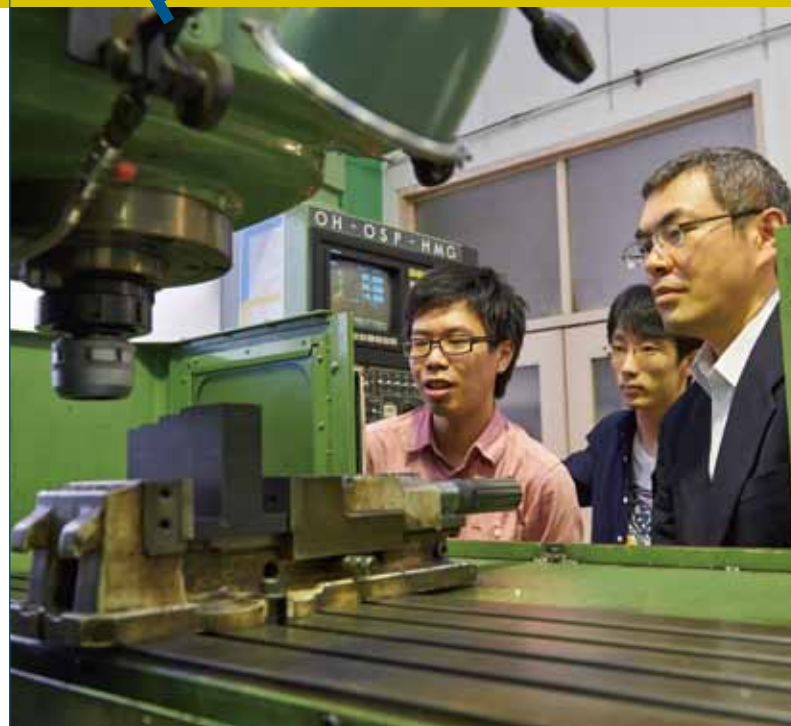
Pickup 大藏信之 研究室



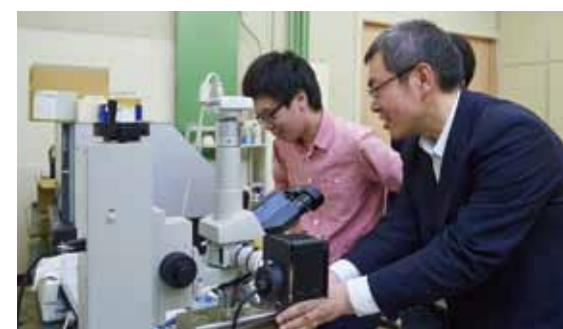
空気や水の流れを考える流体工学が専門分野。自動車や飛行機などが移動するとき、乗り物は空気抵抗や揚力を受けます。空気の流れは燃費や騒音などにも影響を及ぼしますが未解明な問題が多く、この研究を通して燃費軽減や事故防止などに役立つことを目的としています。大型の風洞装置を用いての実験では学生同士で役割分担するなど、チームワークの良さも研究室の自慢のひとつです。

空気の流れのメカニズムを解明

Pickup 成田浩久 研究室



エンジニアとしての誇りを育む



切削加工メカニズムの解析と、生産技術の医療分野への応用をテーマとしています。特に医療関係では、藤田保健衛生大学と連携して、医学実験に用いるラットの固定具や医療技術向上をサポートする注射訓練用の疑似腕製造、さらには手術室レイアウト(電源配置その他提案など、幅広い活動を展開しています。『よく学びよく遊べ』がモットーという研究室。学生たちは、開発を通して「ものづくりの面白味」に目覚めています。

Pickup 藤田典史 研究室



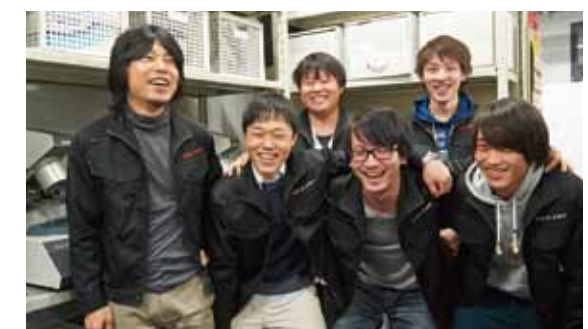
自発的に集合体を形成する自己組織化によって機能を発現する分子の設計・合成や、パソコンのディスプレイに用いる液晶などのようにソフトマテリアル分野に応用できる新規ポリマー材料の開拓をめざしています。今まで発現していない機能、作られていない化合物を生み出すチャンスがあり、学部生も院生のアドバイスを受けながら「自発的に」研究プランを立て、課題に取り組んでいます。

新たな機能性素材を生む可能性

Pickup 赤堀俊和 研究室



チタン合金を用いた
金属系生体用材料の開発

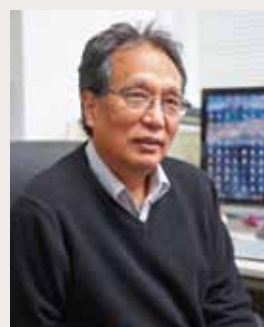


耐食性に優れ、比強度が高いチタン合金は、航空機材料などのほか生体親和性が高いことから金属系生体用材料としても注目されています。人工股関節等の外科手術や、歯科でのインプラント治療等に用いられるチタン合金。研究室では、チタン合金を用いた次世代の金属系生体材料を開発し、力学的特性のさらなる改善を行っています。院生・学部生のチームワークも良く、元氣あふれる研究室です。

建築学科

建築家や建築技術者として必要な
基礎知識と思考力を身につける

建築学科では、世の中の動きに対応できる柔軟な思考力・判断力を有し、建築を通じて社会に貢献できる人材の育成を目指しています。建築分野で活躍するには、デザインセンスだけでなく構造力学や材料の理解など基礎知識が必要で、その習得には、家での復習や、教員に積極的に質問して自発的に学ぶ姿勢が重要です。また、建築分野の進路は想像以上に多彩です。後援会の各種セミナーでもご紹介しますので、ぜひ足をお運びください。



学科長
村田 賢

環境創造学科

自然と工学の融合による
循環型社会の形成と推進に向けて

本学科の学びは「循環型社会の創造」をキーワードにしています。土木工学・建築学と自然科学の分野の教員が揃い、入学時に進路希望を持っている人はもちろん、そうでない人も、興味を持ったことをどんな欲に学べる環境です。公務員、教員、建築関係ほか様々な業種へ人材を輩出しています。「環境」は、学生に限らず幅広い年代の人々に関わってくる問題。ぜひご家庭でも環境についてご子弟と話し合う時間を持ち、関心を高めてください。



学科長
垣 鐔 直

社会基盤デザイン工学科

社会基盤を通して
都市そして地域社会をデザイン

自然災害や少子高齢化など諸問題を抱える地域社会を考えるキーワードとなるのは、デザイン。本学科では「総合性」と「公共性」をテーマに、都市計画や防災計画などのソフトデザインから、橋や道路などの設計・建設・維持管理などのハードデザインまで幅広く学べます。就職先も公務員、コンサルタント、建設会社と個性に合った幅広い選択が可能。ぜひ、実践力と知的体力を備えた「まちづくりのスペシャリスト」を目指してください。



学科長
松本 幸正

メカトロニクス工学科

基礎をきっちりと身につけ、
次代を拓くメカトロニクス技術者に

メカトロニクスとは、機械と電気を融合した現代社会に不可欠な技術。例えば、急激に普及が進む電気自動車は、機械工学だけではなく、電気や制御およびコンピュータ技術にも支えられています。本学科では、機械・電気・制御・コンピュータ技術など各分野の知識を融合し、自動車産業から医療分野まで、様々なジャンルで、メカトロニクス技術者として、これまでにない新機能を有する機械を創造するための基礎力を養成します。



学科長
大道 武生

Pickup 柳沢 究 研究室



地域性や生活文化との結びつき、時代・時間との関わりに注目。その建物が実際にどう使われてきたか、どうあるべきかを調査・研究し、行動します。柳沢先生のリードのもと、学生たちが積極的に行動する研究室です。実際に家づくり・街づくりに取り組み実践的な動きをしており、今年度は犬山市にある昭和30年代の建物の再活用とそれに伴う地域活性化の提案を行うことが決まっています。

外に出て、手足を使って学ぶ

Pickup 酒巻史郎 研究室



目に見えない大気中の微粒子に注目



最近では花粉より小さいPM2.5(微小粒子状物質)が人体に及ぼす影響が問題視されています。都市大気汚染をはじめ酸性雨、温暖化や成層圏オゾン破壊など様々な大気環境問題が地球上で起きていますが、これらは大気中に存在する種々の微量物質の物理的・化学的作用の結果です。この研究室では、これら汚染物質がどのように発生し、どう変化して飛来するかを調査・研究しています。

Pickup 渡辺孝一 研究室



構造工学を専門としており、土木構造物の新しい耐震補強法の研究を行っています。近年は制震デバイスのひとつである、ダンパーを用いた鋼橋の制震化に関する研究に力を注いでいます。また、この研究室では、大学間で強く美しい橋づくりを競い合う「スチールブリッジコンペティション」に毎年参加しています。学生たちは、学んだ知識を生かし、橋の設計・製作組み立てを総合的にデザインして競技に挑みます。

信頼性の高い耐震構造の開発を目指す

Pickup 大原賢一 研究室



汎用性の高いロボットを創出



多彩な技術を統合して作り上げられるロボット。そこに用いられる機能の一部を、それ以外のものに応用できるようなシステムデザインし、誰もがニーズに応じたロボットを容易に組み立てられるようにすることが、研究の目標です。また、顕微鏡下での微細作業を人に代わって行うロボットシステムの開発も進めています。学生たちは研究を通じて幅広い視野と知識・技術を習得しています。

日本初放送は東京で、
「アー、アー、聞こえますか」

世界初の無線による音声放送が実現したのは1900年。カナダ出身の電気技術者レジナルド・フエッセンデンによる通信テストでした。彼は1906年のクリスマスにはアメリカ・マサチューセッツ州で世界初のラジオ番組を放送しました。その後、1920年にアメリカのペンシルバニア州ピッツバーグで世界初の正式な公共放送が行われたとされます。

日本での初放送は1925年3月22日。社団法人東京放送局（J.O.A.K.現NHK東京放送局）によるもので、6月に大阪、7月には名古屋でも放送が始まります。当時は電波の届く限られたエリア内でのみ受信でき、受信機は電気不要の「探り式鉱石受信機」、つまり鉱石ラジオでした。方鉛鉱や黄鉄鉱など鉱石の整流作用を利用してアンテナから拾った微弱な電波を集め、イヤフォンで聞く仕組みです。

1926年に東京・大阪・名古屋放送局を統合した「社団法人日本放送協会」が設立され、日本中でラジオが聞けるようインフラ整備が進められます。スピーカーを通して複数人で聞ける高価な真空管ラジオが登場し、1930年代には真空管の改良などにより低価格化が実現。交流式の国産ラジオが普及します。小型でスマートな製品やデザイン重視のラジオも作られました。交流式受信機は電気がないと使えないので災害時にラジオが聞けないという問題がありますが、直流式受信機は普及しませんでした。

よみがえる少年の頃の思い

ラジオ

日本で初めてのラジオ放送が行われたのは1925年。今年は放送開始から90年にあたります。この間、ラジオは人々にさまざまな情報や娯楽をもたらしてきました。深夜のラジオ番組に秘かに投稿したり部品を集めてラジオ受信機づくりに取り組んだり…と人それぞれに、ラジオにまつわる思い出を持つのではないのでしょうか。あらためて、ラジオの歴史を振り返ってみましょう。



アメリカで放送開始直後にウェスチングハウスが発売した探り式鉱石ラジオ
1921年

ラジオを楽しむ少女たち
鉱石検波真空管増幅の電池式ラジオ
1928年頃



再生検波3球真空管ラジオ
小型の砲弾型キャビネット、この時代を代表する形態である
1932年頃



娯楽の中心だったラジオは
やがて戦争を喧伝

1934年には日本放送協会が再組織化され、日本中で同じ内容の放送を楽しめるようになります。ラジオ番組はニュースのほか音楽やドラマ、演芸やスポーツ中継などの多彩なプログラムが生まれ、人々にとってラジオは、娯楽の中心的な存在となりました。しかし1941年の太平洋戦争開戦以降、ラジオ番組は徐々にプロパガンダ的な内容が増え、ついには「大本営発表」を喧伝するための役割を果たすようになっていきます。

戦後、占領軍の政策としてラジオ放送の普及が重視されました。戦争の影響でラジオは市場で不足していたため、多くのメーカーが乱立してラジオを製造。この中から、現在の日本を代表するメーカーも生まれ育っています。また、軍需産業や軍隊で無線技術を習得した技術者や理工系の学生など、アマチュアたちがラジオの自作に取り組み、ラジオ雑誌なども生まれました。

1950年に放送法で民間ラジオ放送局の設置が可能となると、翌年に中部日本放送（愛知県）と新日本放送（大阪府・現毎日放送）が開局し、日本初の民間放送が始まりました。



昭和天皇が玉音放送を聞いたとされるトランスレス5球スーパー真空管ラジオ（同型機）
1940-42年

それぞれのスタイルで
ラジオと向き合い、楽しむ

1960年代に入ると、半導体素子であるトランジスタを使用して小型・軽量・低消費電力化を実現したトランジスタラジオが普及。ラジオは一家に1台から一人1台の時代になりました。これに伴って放送局はファミリー向けの番組から個人をターゲットとした番組制作を意識するようになり、特に深夜放送は若者たちから絶大な支持を得ました。

1959年の皇太子殿下（現在の天皇陛下）と美智子妃のご結婚パレード、1964年の東京オリンピックなどによってテレビが普及すると、ラジオは次第に情報伝達や娯楽の中心的な座を追われました。

しかしラジオは、しっかりと多くのリスナーの生活に根づいています。1992年以降、地域のコミュニティ放送局が次々と生まれ、1995年の阪神・淡路大震災や2011年の東日本大震災では、大規模停電が続く中、電池で動く携帯ラジオが災害状況を伝える重要な役割を担いました。

現在は世界中のラジオ放送を聞けるインターネットラジオが普及。パソコンやスマートフォンで、好きな場所で好きなときにラジオ放送を聞く新たなライフスタイルが生まれ、これによってラジオ番組のリスナーが再び増える傾向もあるとのこと。さらに衛星や地上デジタルラジオなど、多様化が進んでいます。ラジオは今後も暮らしに寄り添い、必要な情報や楽しいひとときを送り続けることでしょう。

写真提供／日本ラジオ博物館
〒390-0811 松本市中央 2-14-10
Tel.0263-36-2515
http://www.japanradiomuseum.jp/



工業高校の実習で製作された8石スーパーランジスタラジオ
市販のケースは高価だったため弁当箱に組み込んでいる
1976年



11C+10石FM付3バンド
スーパーランジスタラジオ
音楽に敏感な若者向け商品と位置つけたワールド・ボーイ・カスタム
このシリーズは愛称に自動車のグレードを思わせる名前をつけているのが特徴
この機種は"カスタム"を名乗っている
1969年

ポケット型6石
スーパーランジスタラジオ
1958-60年
1959年2月にグッドデザイン賞受賞

Memories of Radio

電波が開いた世界へのとびら

アマチュア無線局 JH2IYB 児玉隆治

休みの日には、父が真空管式のテレビやラジオをひっくり返しては、あれこれいじっているような家庭で育ったので、中学生ぐらいから真空管ラジオの古いのを改造したり、O.V.2という真空管を2本使った短波受信用のラジオのキットを買ってきて組み立てたりしていました。O.V.2は当時としても旧式のラジオで、再生検波といってピーツという甲高い音を立てながら感度調整をするという人騒がせなラジオだったので、母親によくうるさいと言われました。

当時は外国の放送局の日本語放送を聞くBCLが流行りで、南米エクアドルのアンデスの声（地球のほほ真裏ですが、対蹠点効果といって、すべての方向から飛んで来る電波が強め合うので、意外に簡単に受信できるのです）とか、ラジオ・オーストラリア（ワライカワセミのケケケという声で始まるのが目印）、BBCやバチカン放送局などの遠い局の受信に挑戦して航空便でレポートを送っては、ペリカードという受信証を集めました。BCLで聞く各放送局には、番組と番組の間に流れる特有の短い音楽やアナウンスインターバルシグナルがあつて、これが受信の目印でした（YouTubeに上がっているのを今聞いてちよっと泣きました）。

通信教育で勉強して電話級、電信級のアマチュア無線の免許（今の四級、三級）を中学の間に取り（今は選択式ですが、当時は記述式



ささやかな無線局。真ん中が市販の受信機FR-50B、左の小さいのが自作の電信送信機（出力5W）
（写真提供／児玉隆治）

重々しい昔の無線従事者免許証
終身有効なので、最初に取得した時のまま
（写真提供／児玉隆治）



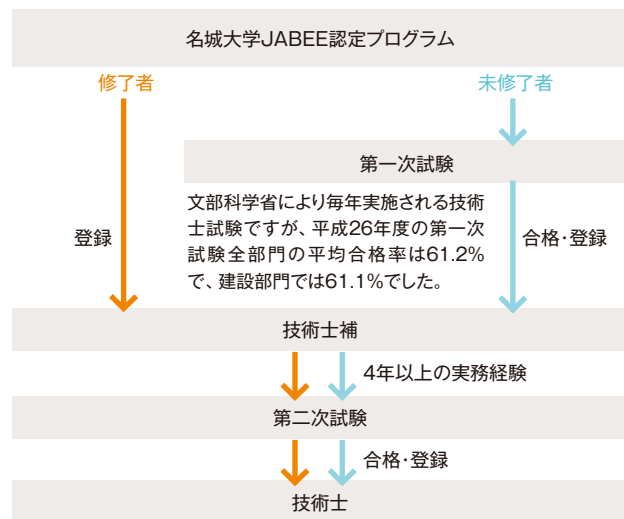
夏は発熱で暑かったけど（クーラーもなかったし）、真空管の赤い光は今でも懐かしいように思います。オーディオの世界ではまだ現役みたいですね。

JABEE認定プログラム

Japan Accreditation Board for Engineering Education

日本技術者教育認定機構(JABEE)は、技術者教育の振興、国際的に通用する技術者の育成を目的として設立されました。当法人は、第三者機関として、大学等の高等教育機関で実施されている技術者を育成する教育プログラムが社会の要求水準を満たしているかを国際的な認定基準に基づいて認定します。

JABEE認定プログラムは、技術士への近道です。
 難関の技術士第一次試験が免除されます。



Q&A

Q「技術士」とは、何ですか？

A 科学技術の高度な専門応用能力を持つコンサルタント

技術士とは、文部科学省の登録を受けた国家資格で、技術士の名称を用いて、科学技術の高度な専門応用能力を必要とする事項について、計画・研究・設計・分析・試験・評価、またはこれらに関する指導業務を行うものを言います。

Q「技術士」とは、どんな仕事ですか？

A 技術に関する相談・指導・調査など、幅広いフィールドで活躍

技術に関する研究・開発・設計・評価の指導や相談、製品の品質や製造工程の効率改善、プロジェクト計画の策定や管理、事故の原因調査や損害査定などを行います。

現在、特に建設コンサルタント業務においては、技術士は必須の資格となっています。(技術士資格を保有していないと官公庁などから受注することができません。当然、入札の参加資格もありません)

名城大学技術士会

(名城大学は、中部地区で最初に大学技術士会を設立した大学です!)

名城大学技術士会は、名城大学を卒業した技術士および第二次試験合格者、技術士補および第一次試験合格者ならびにJABEEコースを修了したもののなど199名(平成27年4月現在)の会員で構成されています。

本会は、名城大学の教育・研究活動に協力することにより、母校名城大学の発展に寄与するとともに、技術士相互の交流、技術士自らの継続研鑽などを図ることを目的に活動しています。

■詳しくは、名城大学技術士会のHPをご覧ください！
<http://meijogijiyutushikai.web.fc2.com/>

名城大学のJABEE認定プログラム

学科名	プログラム名
材料機能工学科	●材料機能工学科(平成21年度認定)
応用化学科	●(申請予定)
機械工学科	●創造機械設計プログラム(平成16年度認定) 機械システム工学プログラム
交通機械工学科	●交通機械工学科(平成16年度認定) (2・3年全員、4年生は選択)
メカトロニクス工学科	●(申請予定)
社会基礎デザイン工学科	●(申請予定) (建設システム総合プログラムは平成17年度認定)
環境創造学科	●環境創造プログラム(平成21年度認定) 環境総合プログラム
建築学科	●建築学総合プログラム(平成18年度認定) 建築学基礎プログラム

Q JABEE認定プログラムのメリットは？

A 技術士補の試験が免除となり、技術士への近道となります

技術士になるための技術士第二次試験を受験するには、先に「技術士補」であることが必要です。

技術士第一次試験に合格することで技術士補になることができますが、合格率をみると平成26年度における第一次試験全部門の平均合格率は61.2%、建設部門では61.1%となっています。

JABEE認定プログラム修了生には、この技術士補の資格が申請手続きだけで取得できるという大きなメリットがあります。しかも、JABEE認定プログラムを選択しても授業料は変わりません。つまり、JABEE認定プログラムを修了すれば、学外での数万円の試験対策講座や受験料を支払うことなく、技術士第一次試験を合格したことになります。

活動内容

- 講演会の開催(年2回)
- 技術士受験対策講座の開催
 1. 受験対策講座および個別相談会
 2. 二次試験筆記試験対策講座
 3. 二次試験口頭試験対策講座
- JABEEコース修了生および技術士補試験合格者への指導技術士の紹介
- 大学技術士会連絡協議会への参加
平成26年5月現在加入しているのは全国18大学の技術士会です。
- 技術士および技術士補に関する相談等の対応

■JABEEや技術士(補)に関することなどは、お気軽にご相談ください。
 総務広報担当副会長：森富雄 (株)アイエスシー Tel.052-882-1201
 ※事務局は名城大学理工学部事務室内にありますが、お問い合わせは上記までお願いいたします。



名城大学理工学部 OB インタビュー

夢と志を持ち、
 知恵と知識に基づいた
 ものづくりを。



山田 伸雄さん

日本テクニカ株式会社 代表取締役社長
 1973年3月 名城大学理工学部 交通機械学科 卒業

熱い思いから進学先を決定

私が高校生の頃、時速約2500キロメートルで走行する「音速滑走体」の研究が、新聞やテレビ、少年雑誌などで頻繁に取り上げられていました。私は「この研究をする小澤久之丞(おさわきゆうのじょう)教授がいる名城大学の交通機械学科で学ぼう!」と、迷うことなく進学先を決めました。現代の高校生たちは、偏差値を基準に「入れる大学」を選ぶそうですが、本来は「何を学ぶか」「誰から学ぶか」が大事なのではないでしょうか。

小澤ゼミに所属し、卒業研究は小澤教授の指導のもと「水のエネルギーを使った滑走体の静止方法」についてまとめました。大学時代は理工系の知識とともに文章力も養いましたよ。構成を考えるからでしょうが、文章力がない人はどうも設計図を描くのが苦手なようです。

流れやすい方へと流されない

卒業後は愛三工業に入社し、開発業務に携わりました。大学で身につけた技術者としての自信と誇りがあつたから、新人時代から仕事では役員クラスとも対等に渡り合っていましたよ。それなりに充実感がありました。ですが「夢と志を持つてものづくりに取り組もう」と、30代半ばで日本テクニカを立ち上げました。何事かを成し遂げるには、流れやすい方へと流されないことが大事。サラリーマン生活に流されずに起業できたのは、学生時代に小澤教授の真摯な姿を間近で見て、「遊びたい盛りの学生生活だが、遊んでいてはダメだ」と自ら気づくことができた経験があつたからかもしれません。

自由な発想で、ものづくり

日本テクニカでは、技術改良は行いますが、すでに世にある製品と同じものはありません。真に社会で求められるのは何かを考え、研究から設計、解析、試作・実験、製造に携わります。また、社員相互の意思疎通を図ってスピーディに展開できるのは、中小規模の企業ならではのしつ。学んだ知識を活かして自らアイデアを出し、自由な発想でものづくりに取り組むという技術者としての醍醐味を、ぜひ、これからの若い人たちにも味わってほしいですね。

「小澤研究室での研究内容は、工学の真髄を突いたものでした!」とのこと



仕事のかたわら音楽を愛し、オーディオ機器収集を趣味とする山田さん



日本テクニカ株式会社

愛知県刈谷市井ヶ谷町下前田25-1
 事業内容／自動車部品、環境製品、省力化機器等の開発および製造
 名城大学理工学部・奥出研究室との共同研究を行い、日本発明振興協会「発明研究奨励金」受賞などの実績を持ち、「社会に貢献できるものづくり」に日々取り組んでいる



昼休みに風が心地いい木陰でお弁当をととてもおいしそうに食べている学生をスケッチ。彼女たちは表紙の絵の右下あたりに登場しています。

本部棟前の理工学部生の憩いの場所で、石黒鏑二さん作のモニュメントをスケッチする柄澤さん。このときの絵は裏表紙をご覧ください。

タワー75の展望ラウンジで昼休みを思い思いに過ごす学生たち。勉強に励む人、トランプに興じる人、お弁当を広げる人、お昼寝中の人、そんな様子を柄澤さんは楽しみながら観察。



平成17年4月、正門に完成した赤崎勇教授記念LED時計塔。



最高のお天気に恵まれた10月7日の昼休み、たくさんの学生たちが行き来する研究実験棟Ⅱの前でスケッチをしている柄澤さんのもとへ、興味津々で近づいてきたのは建築学科の原沙友美さん。様々な世界の建築にとっても興味があると話していた彼女は、しばらく柄澤さんとおしゃべりした後、午後の授業の建築設備概論を受けるため去っていきました。折しもこの日の夕方、赤崎勇終身教授の2014年ノーベル物理学賞受賞が発表されました！



10/7

10/2

9月30日と翌日の10月1日は、2号館の4階踊り場から、タワー75を背景にスマホを片手に緑あふれるキャンパスを闊歩したり、お弁当を食べている学生たちをスケッチ。秋の初めとはいえ、昼間はまだまだ汗ばむ陽気。日傘をさす学生もたくさんいました。しかし柄澤さんが座っているこの場所は別天地。そよそよと涼しい風が吹いていました。

10/1

9/30



タワー75が眼前にそびえる写真左の風景がScope42号の表紙絵となっています。



初めて柄澤さんが名城大学を訪れたのは平成26年9月30日。お天気は快晴。タワー75の15階からの展望はすばらしく、ついこの3日前の27日に噴火した御嶽山が生々しく噴煙を上げているのが見えました。眼下には広大なキャンパスが広がり、写真左の2号館赤丸の場所で早速スケッチを始めました。

柄澤昭文さんの 名城大学 スケッチ散歩



ペン画家。昭和24年愛知県生まれ。岡崎市在住。「塩の道」(三河～信州)や利根川流域、江戸時代の先人の足跡を訪ねてスケッチ旅をしたり、各地の町並みや農山村風景などを描いたりしている。著書に『実存の日々のスヌメ』シリーズ、『塩の道旅日記』、画集に『晴れた日足助』『岡崎鳥瞰画十景』『北海道江差八景』などがある。平成26年には「足助屏風を描く展」を三州足助屋敷で開くなど新たな境地を切り開いている。





親子で
チェック!

思いやりの心が 『マナー』につながる

マナーとは、ルールではなく思いやり。人や自然に対する敬意の念から生まれるものです。自己中心的にならず、相手の立場で考えて、不快と思われる行動を取らないことがポイント。自分では「問題ない」と思っている、相手には「マナー違反」だと思われることが、もしかしたらあるかもしれません。大学生として、社会人として、そして家族として、親子でチェック！楽しく快適な毎日を送るためにもあらためてこの機会に、マナーについて見直してみましょう。

あいさつは先手必勝

円滑な人間関係を築くには欠かせないあいさつ。大学で、会社で、そしてご近所でもきちんと習慣づけたいものです。会っても知らんぷりは最低限のマナーの欠如です。縁があつて同じ大学や会社、町に暮らす人同士、気持ちよくあいさつしたいもの。相手の出方など待たないで、たとえ返事をしてくれない人がいたとしても臆することなく、自分から笑顔で積極的な声をかけましょう。あいさつは先手必勝。自分からあいさつすることによって、周囲も慣れてきます。

公共の場でも気持ちよく

通勤通学その他で、私たちは無意識のうちに多くの人と出会っています。「知らない人にも思われても構わない」というのは、あまりにも思いやりに欠ける考えではないでしょうか。二度と会わないかもしれない人だからこそ、相手に不快感を残さないようにしたいものです。大人にも多い「ながらスマホ」や電車・バス内での通話は控えましょう。また、おしゃべりに夢中になり、横並びに広がって歩くのは他の人の歩行を妨げる大変迷惑な行為です。

親しき仲にも礼儀あり

大学は学びの場であり、人との関係を通して成長する場でもあります。「仲間内」という感覚から、つい気が緩んでしまいがちですが、自分以外の人のことを思いやる気持ちは、いどんな場でも忘れずにいたいですね。

受講中の私話は慎み、スマホの電源をOFFにしましょう。学内の通路に座り込みをしたり、学内のコンセントからスマホ・PC等の充電をしたりするのはマナー違反です。研究室訪問時はノックをしてから入室をしましょう。

若者言葉に気をつけよう

「超○○」「○○的」など、現代では聞き慣れた言葉の数々。これらの若者言葉は、耳にするとな眉をひそめる一方、自分でも気づかないうちに口に出ていることが多いものです。大学生までなら許されても、私たち親世代ではもちろん、新社会人が使つと恥ずかしい思いをします。こんな言葉には注意が必要です。

超○○

「超かついい」「超おいしい」「超十形容詞」で使われる若者言葉。「超高層ビル」のように「超十名詞」で使う分にはOKです。「超十形容詞」を大人が使うのは好ましくありません。

○○的

「私的には大丈夫です」「気持ち的には気が進まない」「最近では何でも物事を曖昧にする傾向があります。『私的には』には、私だけではなく後ろにある自分と似た存在も含み、自分の意見をストレートに言おうとしない逃げの姿勢が感じられます。相手にきちんと伝えるためには「私としては」「気持ちの上では」などと表現する方が大人にはふさわしいでしょう。

○○かも

「こちらの方がいいかも」「こちらも物事を曖昧にしたい気持ちから発生した言葉。『こちらの方がいいかも』とは、『こちらの方がいい』と自分は主張しつつも自信のなさや責任を取りたくない気持ちが込められています。このような表現は特に仕事の場では使わないようにしましょう。

てか

「てか、遊びに行かないの?」「相手の機嫌を損ねないようにしつつ、相手の言ったことを否定できる便利な言葉であるが、大人であれば「それより」「そっいえば」を使いましょう。

大切な固定電話での応対

携帯電話の高性能化と普及が進むにつれ、一般世帯において電話の利用スタイルは世帯単位から個人単位へと変わりました。特に若年層では実家を離れ一人暮らしをする際に固定電話の契約をしないケースは珍しくありません。そのため若者は固定電話が扱えなくなっています。

しかし、社会に出れば当然固定電話（ビジネスホンの応対ができればなりません。固定電話は公的な象徴で、仕事上のことは一般的に固定電話で連絡をします。電話機の操作方法は仕事をする上で最も基本的な事ですので、入社したら会社の人にきちんと聞いてまっさきに覚えましょう。

そして顔が見えないからこそ心を込めて応対することが大切です。まずは、社内の人間に電話を取り次いでもらった際の第1声は「もしもし」ではなく、「お待ちいたしました」「お電話ありがとうございます」と言います。また、受けた相手が部下宛だった時には「○○でございますね。いつも○○がお世話になっております。ただ今代わります」と言います。

電話で使いがちな口癖も改めましょう。「〜とか」「ちょっと」「あのほう」「えーっと」このようにならざる言葉は、話相手をつらたせる原因にもなりますので注意が必要です。

人と対する時には、笑顔であいさつすることやきちんと通る声で相手を見て話すこともマナーの基本。学生生活を通して、知識だけでなくマナーと優しさも身につければ、それは一生の財産となります。どんな場でもスマートに振る舞える大人として成長した我が子を社会へと送り出してあげましょう。

理工学部 後援会の活動

Contents

- 21 フレッシュマンセミナー
- 23 ご父母のための進路セミナー
- 27 理工学部からはばたく卒業生インタビュー
- 28 学生奨励表彰式
- 29 理工学部地区懇談会
- 32 家庭教育支援セミナー
- 33 その他の活動紹介
- 37 こんにちは、名城大学理工学部後援会事務局です。

理工学部後援会長 あいさつ

このたび平成27年度の会長に就任いたしました、松原でございます。後援会会員ご父母の代表として、微力ながら今年1年がばつてまいりますので、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

当会では専用の事務局も設置し、常勤の職員もおりますので、ご子弟のみならずご父母につきましても些細なご相談などでもぜひ後援会を利用して欲しいと思います。

後援会では、1年生が入学されてすぐのフレッシュマンセミナーに始まり、卒業時には卒業パーティーの援助や卒業記念品の贈呈まで、後援会活動は入学から卒業まで幅広い支援を行っています。また、会員ご父母に対しては、地区懇談会・家庭教育支援セミナーなどさまざまな行事もあります。ご参加いただければきっと皆様と大学との距離も縮まることでしょう。

平成25年度から、会員ご父母より要望の多かった会員子弟の前期成績表郵送を行っており、好評を得ております。さらにご子弟の進路についてはご父母の最大の関心事と考え、6月下旬に就職・大学院進学についてのご父母向けのセミナーを行います。

役員・委員とともに後援会会員にとって魅力的な後援会づくりに邁進して参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



名城大学理工学部後援会
会長 松原 成生

後援会の基本姿勢



1 学生への支援第一主義

あくまでも学生への支援を第一に考え、次にご父母への還元。その次に理工学部の教育・研究への援助を基本としています。

2 ご父母と大学・学部とのパイプ役

大学や学部とは連絡を密にして、協調し、ご父母と大学・学部との間のパイプ役となります。また、さまざまな行事を通じてご父母の勉学中のご子弟に対する不安を解消することを目指していきます。

3 ご父母の目線での活動

常に会員であるご父母の目線で、またご父母の要望に耳を傾け、活動に反映していくことを目指しています。

4

理工学部に関する諸団体との連携強化
理工同窓会・技術士会等学内諸団体との連携を密にして、後援会活動の多角化を図ることを目指しています。

企画担当委員会		委員長 吉田 誠治		副委員長 桑田 直浩	
役割	後援会を運営するための予算編成と事業計画を推進する	委員 野澤 雄二 佐古 知巳 鈴木 康男 山村 和彦 岡田 圭二 伊藤 喜章 磯村 光作 澤井 秀美 石川 秀一 水野 修 鶴田 英孝 寺西 正明 大島 正敬 鈴木 宏康 国保 久一 逸見 英治 近藤 昌司 藤村 志郎 服部 武男 伊藤 一男 成田 一弘 小田原 俊二			
		●予算編成 ●会則 ●定期総会 ●地区懇談会 ●フレッシュマンセミナー ●ご父母のための進路セミナー			
編集担当委員会		委員長 藤田 正明		副委員長 鶴賀 伸英	
役割	後援会自主活動の報告並びに学部の状況を会員に周知させる	委員 位田 勝彦 木下 雅資 鈴木 敏夫 三浦 岳司 服部 昌信 堀河 浩一 澤田 高志 石川 勝幸 鍋井 英雄 田口 武彦 平児 直樹 菊地 定昭 伊藤 公一 葛山 稔晃 成田 吉男 岡島 淳二 山田 真裕 河田 直英 村上 敏章 錦木 幸男 高村 和治 宮之上 昭彦			
		●理工学部紹介ビデオの制作について ●後援会会報誌「Scope」の発行について ●後援会ホームページの制作について ●個人情報保護について			
福利厚生担当委員会		委員長 入江 一文		副委員長 岩下 啓和	
役割	後援会として学生に援助し得る福利厚生事業を推進する	委員 田中 幸浩 松田 広 木下 章 山田 一雄 佐藤 幸 山根 正義 澤田 貴徳 長谷川 清 佐野 錦司 一戸 亮志 加藤 淳一 齊藤 久也 中村 冬彦 高井 清和 寺野 真広 小島 久直 戸井 栄治 加藤 広和 金住 健一 山下 隆宏 若山 浩三 市川 幸和			
		●学生育英救済制度実施 ●災害見舞金制度実施 ●学生奨励制度実施 ●家庭教育支援制度実施 ●学生課外活動援助			

後援会の組織図

平成27年度
理工学部後援会
専門担当委員会
会長 松原 成生

開催目的

- 1 同じテーマを議論し、自分の考えを伝え、相手の意見を受け入れる協調性を養う。
- 2 共同作業を通じて意欲をもって主体的に勉学をするきっかけにする。
- 3 信頼できる友人関係を形成することで大学生活への不安を払拭する。



1



2



3



4



13



12

セミナー前には多少の不安がありましたが、実際に参加してみると、学生同士お互いに良く知り合うことができました。より良い大学生活になるよう努めていこうという決意と、親への感謝の気持ちを新たにしています。

水野 裕貴さん



フレッシュマンセミナーに参加して…
機械工学科 新一年生の声



フレッシュマンセミナーを通じて学生同士のコミュニケーションを取ることができ、よかったです。大学生活においては勉強第一としつつ、この先、友人ネットワークも積極的に広げていきたいです。

大澤くるみさん



入学の時点から社会人としても通用するマナーを考えたり、チームでのディスカッションを通じて人それぞれに自分とは異なる考え方を持つのだと実感することができ、とても意義あるセミナーだと思います。

成田 智弘さん



「コンセンサスゲーム」では、学科の仲間と仲良くなれそうな予感を持つとともに、積極的に自分の考えを伝えることもできました。これからの大学生活では、成績優秀者として表彰されることを目指して頑張りたいです。

田中拓実さん

このセミナーは、みんなと仲良くなれるチャンスだと思いながら参加しました。理工学部では少数派の女子同士、同じ部屋で寝起きして絆が強まり、「名城大学に入って良かった」と、あらためて思っています。

岡 由希子さん



平成27年度のセミナーは4月11・12日、18・19日に、各学科ごとに分かれて開催されました。

スケジュール

① 1日目 11:50 名城大学集合

② 12:00 セミナーⅠ
「大学生としてのマナー」

互いをよく知らない隣席同士で自己紹介し合うなど実践的な内容で、大学生活だけでなく社会人になっても役立つ言動を考える場となりました。

③ 13:30 バス乗車 13:45 バス出発

④ 15:30 宿泊地にまもなく到着

⑤ 15:40 割り当てられた宿泊室へ

⑥ ⑦ 16:10 セミナーⅡ
「コンセンサスゲーム」

⑧ 16:50 「コンセンサスゲーム」発表

「不時着した砂漠から生還するのに必要な道具の優先順位をつける」という設定でグループごとにディスカッション。時間内にグループとしての順位付けを確認し、その理由を発表しました。

⑨ ⑩ 18:00 各部屋でくつろぎのひととき

⑪ 18:10 楽しい夕食タイム

⑫ 19:15 セミナーⅢ
「コンセンサスゲーム」模範解答

⑬ 19:45 セミナーⅣ
「グループ懇談」大学生活の目標とは？

これから本格的にスタートする大学生活において何を目標すべきか、グループメンバーが自由にそれぞれの考えを出し合いました。

2日目 8:30 セミナーⅣ

意義ある大学生活を送るための目標づくり

12:00 名城大学到着・解散



5



6



11



10



9



8



7

新入生のためのイベント フレッシュマン セミナー



三河湾に面したホテルで一泊二日にわたって行われる新入生を対象としたセミナーは、充実した大学生活に向けての大切な『初めの一歩』となります。

理工学部後援会の活動

進路・その1 就職活動の現状を知る ご父母のための 進路セミナー

●セミナー開催目的 就職活動の現状を知る 大学院で学ぶ意義を考える 学びの施設を見学する

「ご父母のための進路セミナー」は、理工学部生たちを取りまく現状をご説明し、大学卒業後の進路についてご父母の皆さんにご理解いただくことを目的として開催しています。ご承知のように最近の就職事情は、ご父母の皆さんの時代とは様変わりしています。就職活動（「就活」）はインターネット利用が主流となっている現代。理工学部の学生たちがこの時代に「社会で求められる人材」となり、卒業後の日々を今以上に充実させるためにも、ご父母の皆さんにぜひ、今何をすべきかを共に考えていただきたいと思っています。

●セミナー開催日時・場所 6月27日（土）13時～17時 （大学施設見学ツアー参加者は11時から） 名城大学天白キャンパス内 名城ホール（N101） ●セミナー参加対象者 理工学部全学年のご父母の方

希望者事前申込特別企画

- 大学施設見学ツアー
- 『名城食堂』学食無料体験

ご来場特典

- 『理工学部生の進路』進呈
知っておきたいわが子を取りまく進路事情の
今とこれからが分かる冊子を差し上げます。

参加お申込方法

- 名城大学理工学部後援会ホームページ／「ご父母のための進路セミナー」の受講参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
- 出席はがき／本誌に同封されている個別パンフレット「ご父母のための進路セミナー」の受講申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 開催会場へのアクセスなど、詳しくは後援会ホームページまたは個別パンフレットをご覧ください。



理工学部生が学ぶ「研究実験棟Ⅱ」の見学風景。



理工学部生の進路状況から
現代の就職についての講演会、
就職活動を体験した学生と卒業生による
トークショーなどが一体となった
充実した内容のセミナーです。



学科別懇談

学科ごとに用意された懇談会場に移動。学科長あいさつ、学科の教育方針を聞いた後、就職状況や大学院進学についての説明を受けます。ご父母の皆さんからの疑問・質問にお答えする質疑応答の時間も用意されています。



進路内定者・卒業生によるトークショー

就職先が内定した現役学生や、就職先企業で活躍中の若い卒業生たちが登壇。それぞれの就活をふりかえるとともに、就活中に親にしてもらって嬉しかったこと、言ってほしくなかったこと、就活アドバイスなどのとても参考になる本音トークを展開します。



全体懇談・就職講演会

セミナーは全体懇談から始まり、後援会長・学部長のあいさつ、就職指導や大学院進学についての話、その後、現在の就職状況や企業人事に詳しい方を迎えての就職講演会が開かれます。皆さん、メモを取りながら熱心に聞き入っていらっしゃいます。



大学施設見学ツアー（希望者事前申込特別企画）

2013年春完成の最新の研究機能を備えた、地上4階地下1階建ての『研究実験棟Ⅱ』などを見学し、研究内容についての説明を受けます。その後、ふだん学生たちが利用している学食のひとつ『名城食堂』にて、当セミナー限定メニューをお召し上がりいただきます。



名城ホール前で受付

ご子弟が日ごろ通っている大学。ご父母の皆さんにとって、ここに足を運ぶのは新鮮な感覚でしょう。ご夫婦でいらっしゃる姿も多くお見かけします。学科ごとに受付を用意しており、ご子弟の所属する学科の窓口で参加受付を済ませ、資料を受け取ります。

進路・その2 大学院で学ぶ意義を考える

ご父母のための 進路セミナー



「ご父母のための進路セミナー」では
学生の進路のひとつとして
就職だけではなく大学院への進学についても
レクチャーがあります。
進学の意義等についてご紹介しましょう。

理工学部後援会の活動



「ご父母のための進路セミナー」で、大学院進学についての話に
真剣な表情で耳を傾けるご父母の皆さん。

意義ある選択肢 大学院への進学

名城大学は大学院理工学研究科を備え、多彩な分野で最先端の研究を展開しています。学部各学科の専門基礎教育を基盤とする修士課程、修士課程の各専攻を基礎とする博士後期課程を設けています。「ご父母のための進路セミナー」では、理工学部生の卒業後の進路として、大学院への進学についての説明もあります。

大学での4年間を終えると、企業に就職して社会に出るのが一般的だと思われがちですが、卒業後の進路は、就職だけではないのです。特に理工系においては、多くの学生が学部卒業後の大学院への進学を考へることがあるといひます。名城大学理工学部の最近のデータを見ると、2015年3月卒業生では、1176名中193名が大学院への進学を果たしています。



理工学部生の大学院進学率は 文系と比べて高い

理工学部を設置している主な大学の理工学部卒業生は、高い水準で大学院への進学を選択しています。例えば東京大学では、工学部の大学院進学率が78.2パーセント超に対して文学部の大学院進学率は26.6パーセントほど。名古屋大学工学部の大学院進学率は89.9パーセントです(※)。国公立大に限らず、私大でも理工学部生の大学院進学率が高いのが一般的です。

※朝日新聞出版「大学ランキング2016年版」より

なぜ理工学部生は 大学院への進学率が高いのか

では、なぜ理工学部生の大学院進学率が高いのでしょうか。ひとつには、学生自身の純粋な学問的意欲があります。学部での学びは、専門領域とはいえ、どうしても基礎的な内容が中心となります。興味を持ったテーマに関して本格的に研究したいと考えたとき、大学院という道が見えてくるのです。そして、それ以上に大きな理由は、社会のニーズ。企業が理工学分野において、より専門性の高い知識や技術を有する人材を求め、大学院修了者を重用する傾向にあります。

大学院修了後は 社会に求められる人材に

大学院ではより深く研究テーマを追求することで、専門能力が向上するとともに、人間的成長もあります。学会での研究発表等を通じて視野を広げ、学部生への指導でコミュニケーション能力や指導力も身につきます。修了後は「企業が求める人材」として研究職に就くなど社会に大きく羽ばたくこととなります。

大学院進学を支援する 名城大学奨学金制度

名城大学大学院では、学業成績および人物優秀な学生に対して、所属研究科長が推薦する奨学金制度を設けています。

- ①「学業優秀C奨学生」：90名の学生に対して年額130万円を給付。
 - ②「大学院奨学生」：各研究科の基準により給付。
- その他、入学金相当額を受け取れる「本学卒業等補助奨学生」や、国の事業である「日本学生支援機構大学院奨学生」などが活用できるケースもありますので、進学についてぜひ前向きにご検討ください。





学生たちの健闘を讃える 学生奨励 表彰式

スポーツ関係

● 女子駅伝部

数学科4年 高木 綾女

2014全日本大学女子選抜駅伝競走 4位

数学科2年 湯澤 ほのか

第8回東海学生女子駅伝対校選手権大会 優勝

2014全日本大学女子選抜駅伝競走 4位

● パーベルトレーニング部

建築学科3年 加藤 拳叶

第44回中部学生パワーリフティング選手権大会 83kg級 優勝

● バレーボール部

第67回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 4位

● ライフル射撃部

第85回中部学生ライフル射撃選手権大会10mARS60M団体 優勝

建設システム工学科3年 岩田 雅大

● ラグビー部

第65回全国地区対抗大学ラグビー大会 優勝

● 陸上競技部

機械システム工学科4年 渡邊 隆介

東海学生陸上競技春季大会 男子800m 優勝

文化関係

● エコノワーケラブ

本田宗一郎杯Honda エコマイレージチャレンジ2014 第34回全国大会
グループⅢ(大学・短大・高専・専門学校生クラス) 準優勝

● 将棋部

第10回富士通杯争奪全国大学対抗将棋大会 団体戦 準優勝

建築学科4年 室田 祐希

学術関係

数学科 3年 坪井 優奈 3年 山森 陽介
3年 生天目 英貴 3年 富江 文弥

情報工学科 3年 秦 元昭 3年 坪井 俊也
3年 棚田 慎也 3年 新谷 友佑

電気電子工学科 3年 渡邊 美月 3年 田口 広大
3年 岩田 紘明 3年 田中 優太

材料機能工学科 3年 石川 茜 3年 佐藤 雅史
3年 栗崎 湧気 3年 清木 良麻

機械システム工学科 3年 三木 大輝 3年 岩本 佑太
3年 齋藤 瑠河 3年 江藤 美佐希

交通機械工学科 3年 三浦 諒 3年 蟹江 雄斗
3年 藤井 達士 3年 増田 龍太郎

建設システム工学科 3年 伊藤 理紗子 3年 山口 雄涼
3年 小川 和也 3年 金武 司

環境創造学科 3年 赤堀 拓哉 3年 肥後 直明
3年 小久保 綾香 3年 小屋敷 清継

建築学科 3年 近藤 実穂 3年 内田 慎
3年 伊藤 俊介 3年 伊藤 嘉奈子



名城大学理工学部後援会 学生奨励制度表彰規定

- 1 目的 この制度は、名城大学理工学部の学生で、人物・学業共に、優れた者あるいはスポーツ並びに文化活動において、大学の名声を
とくに広めた者に対し、その功績をたたえとともに、本人をはじめ他の学生の今後の励みになることを念願して設立する。
- 2 適用範囲 名城大学理工学部在籍する学生。
- 3 審査方法及び機関 理工学部長の推薦により、理工学部後援会福利厚生委員会において審議決定する。
- 4 審議時期 適時
- 5 奨励方法 表彰状並びに副賞(記念品)とする。
- 6 ① 表彰者選出基準

区分	資格	基準	年間引当数
学術関係	個人	3・4学年に在籍する者のうち、人物・学業共に優秀な学生で各学科ごとに推薦された者。	1学科4名以内
スポーツ関係	個人又は団体	一、名城大学体育運動部に所属し、東海大学選手権大会又はリーグ戦等に於いて優勝したチーム。又は個人。 若干名 二、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。 三、前二、二号優勝者以外で個人賞として特別に表彰された者。 四、体育会運動部主将として著しく部の発展に貢献した者。但し在学中一回限りとする。	
文化関係	個人又は団体	一、名城大学文化クラブに所属し、東海又は中部大会以上の競技会に於いて優勝した個人又は団体。 若干名 二、前号以外で、全国的規模における競技会に於いて3位以上に相当する賞を受けた個人又は団体。	

- ② 上記区分以外で、会長若しくは学部長の推薦により、後援会福利厚生委員会が妥当と認めた者に対しても、上記区分に該当する者と同様に表彰することができる。
③ 前項①②共、後援会費納入会員の子弟とする。
- 7 表彰方法 表彰者氏名及び該当事項を公示し、後援会委員会の席上において表彰する。
8 施行期日 昭和57年4月1日付をもって施行する。
附則 平成5年10月21日 一部改正 平成10年3月24日 一部改正 平成11年6月4日 一部改正 平成25年1月30日 一部改正 以上

理工学部後援会の活動

理工学部からはばたく卒業生インタビュー

2015年3月19日、愛知県体育館にて平成26年度の卒業式が盛大に行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、卒業生たちも見送る先生方も、みな晴れやかな笑顔が印象的でした。卒業のみなさんの今後のますますのご活躍を期待しています。卒業式終了後に、就職・進学を控えた理工学部卒業生2名から、それぞれの進路選択についてお話を聞きましたので、ここにご紹介します。

インターンシップで 実社会に触れ、進学を決意

兼松陽介さん
建築学科 卒業
名城大学大学院へ進学



幼 い頃から空間に興味があり、高2ぐらいには建築を学びたいと考えようになつていました。進学先を調べている際に生田京子准教授の作品に惹かれて、名城大学への進学を決めました。

生田先生のもとで、名城大学新校友会館の外観デザインコンペや住宅計画の立案に関わったり、企業とのタイアップ企画でキッチングッズの商品化に向けてアイデアを出し合ったのは、今も思い出深いです。

3年次には東京の建築アトリエでインターンシップ体験をして、「いま社会に出ると、後悔するかもしれない」「もっと深く学びたい」と、大学院での学びを意識するようになりました。親は内心、私が公務員になることを希望していたようですが、「好きなことを学べば良い」と言ってくれたので、進学を決意。入学金返還などの奨学制度は、とてもありがたいです。

大学院では、ハウスメーカーとのプロジェクトや海外コンペへの応募などにもチャレンジしながら、研究を進める予定です。将来は、周囲の環境との一体感があつて、人々が気軽に集う場となるような商業施設の設計を手がけるのが夢です。

全力で取り組むことで 道が開けてくる

神谷浩隆さん
交通機械工学科 卒業
名古屋鉄道株式会社へ就職



名 城大学の理工学部に進学したのは、多彩な学科から選択できるからです。その中で「自分にはどの学科がよりふさわしいか」を考え、機械系への関心が高かった私は、特に乗り物に興味があつたので、最終的に交通機械工学科を選びました。

3年次の後半から就職を本格的に意識するようになり、当初は自動車関連の会社への入社を考えていました。さまざまな企業の説明会に参加し、企業研究をしていく中で、自動車業界だけでなく、鉄道会社にも関心を持つように。その思いが徐々に強くなって、最終的には鉄道会社への就職を決めました。

就職活動に際して両親は「本人に任せる」と、私の意思を尊重しつつ、陰で応援してくれていました。母がリクルートスーツを用意してくれたのは嬉しかったです。会社研究の際に「福利厚生って何だ?どこが重要?」など疑問に思つたことを父に尋ねると、社会人の先輩として教えてくれたのもありがたいです。

入社後はまず駅員として勤務し、車掌、運転士とキャリアアップの予定。地元でやりがいのある仕事に取り組めることを誇りに思っています。



個別懇談では、学生一人ひとりの出席表や成績表に基づいてじっくり相談できます。

- 地区懇談会とは？**
- 会員への還元行事のひとつとして実施されている理工学部地区懇談会。学部の先生方の協力を得て、全国各地で行います。毎年、各学科から選出された役員と後援会事務局が二丸となって、より充実した懇談会となるよう策を練り、開催しているものです。出席されるご父母が減少傾向にある地区は、毎年開催ができなくなる可能性もありますので、ぜひとも積極的なご参加をご検討ください。
- 参加されたご父母の皆さまの声**
- 子どもが3年生になって初めて参加しましたが、「これまでも参加しておけば良かった」と悔やんだほど、充実した時間でした。インターンシップや大学院への進学など、子どもと向き合い、よく話し合いたいと思います。
 - 大学生になったばかりの子どもは、あまり親と話したくないのですが、最近の大学の様子を知らたくて参加しました。先生からのお話はもちろん、他のご父母の意見も、子どもと接する上での参考になります。
 - 個別懇談の場で、わが子の現状や今後に向けての具体的なアドバイスを先生からご説明いただけたのがありがたかったです。つい時間オーバーするくらい話しました。
 - 学校主体でなく後援会の開催というのが良いですね。フラットな雰囲気、何かと質問・相談しやすいです。
 - 毎年参加しています。懇親会では先生方とお話しして、親近感を覚えました。
 - 子どもが1年生の時にも参加しましたが、4年生の今、卒業に向けてどうなっているのか気になって再び参加しました。授業への出席状況や卒業の見通し等がわかり、親として安心できました。

懇談会への参加お申込方法と各地区開催会場・日時・地図は次のページをご覧ください。



名古屋地区懇談会スケジュール（写真は昨年度の様子です）



④ 学科別懇談 14:00

学科ごとに用意された別会場に移動。それぞれの科目概要の紹介のほか、就職スケジュールや就職実績などについて説明を受けます。



⑤ 個別懇談・待合懇談 14:30

別室に案内され個別相談を行います。個別相談の順番を待つ間、学科別懇談会場では学科全体についてのご父母からの質問に先生が答え、全体共有します。



⑥ 懇親パーティー 16:40~17:50

立食パーティーの準備が整えられた部屋へと移動。和やかな雰囲気の中で、先生とご父母が飲食をともにしながら自由に話の花を咲かせます。



① 受付開始 12:30

わが子の所属する学科受付で資料等を受け取って、いざ懇談会会場へ向かいます。



② 理工学部紹介ビデオ上映 13:00

学内の各施設や、各学科の研究内容、先生方や学生の活躍の様子が紹介されたビデオを参加者全員で鑑賞します。



③ 全体懇談 13:40

後援会長のあいさつに続いて学部長から志願者の推移、施設の充実等の説明がなされ、赤崎勇終身教授のノーベル物理学賞受賞報告もありました。

津・大垣・浜松・松本・福井・岡山・福岡地区懇談会スケジュール

① 受付開始 9:30

② 理工学部紹介ビデオ上映 10:00

③ 全体懇談 10:40

④ 個別懇談・待合懇談 11:20

⑤ 昼食会 13:00~14:00

各地で開催する地区懇談会も全体の流れと内容は名古屋地区懇談会と共通で、ご父母の皆さんは理工学部とわが子の現状について相談できます。

名古屋会場より参加者数が少ない分、ほっこりと和やかな雰囲気。各会場とも年々、ご夫婦でのご参加が増えています。



先生方に接する貴重な機会 理工学部 地区懇談会



名古屋会場および各地方会場を設け、全学年のご父母を対象に開催する地区懇談会。ご父母の皆さまと理工学部の先生方が直接会ってじっくりお話しいただける場です。ご夫婦そろってご参加いただけます。

理工学部後援会の活動

家庭に活かす 心理学講座

当講座は心理学を中心とした内容をご父母の皆さんにご提供し、それをご家庭に活かしていただき、より一層の教育力向上を目指す目的で開設されました。心理学については初学者にもわかりやすく、初歩から解説します。心理学等の学問的内容の理解をし、家庭教育に活用していただくことは重要ですが、さらにこの講座を受講したことにより、ご父母世代の「自分探し」、また子育てが終わってからのこれから続いていく質の高い人生への参考となっていただけましたら幸いです。

●受講期間・回数・時間

平成27年7月～平成28年3月
全18回 各回13時～16時15分

●会場

名城大学天白キャンパス
11号館504教室・第一会議室

●定員

50名(1度当講座を受講されたご父母はお申し込みできません)

●受講料

無料(別途教材費がかかる場合があります)

●担当講師

鈴木亮子先生／鈴鹿医療科学大学
保健衛生学部 医療福祉学科 准教授

吉住隆弘先生／中部大学
人文学部 心理学科 准教授

吉田琢哉先生／岐阜聖徳学園大学
教育学部 准教授

早川由美先生／名古屋工業大学
学生相談室カウンセラー

川島一晃先生／皇學館大学
文学部 コミュニケーション学科 助教

信太寿理先生／愛知淑徳大学
非常勤講師



参加お申込方法

- 名城大学理工学部後援会ホームページ／家庭教育支援セミナー「講演会」または「家庭に活かす心理学講座」の各受講参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
- 出席はがき／本誌に同封されている各個別パンフレット、家庭教育支援セミナー「講演会」または「家庭に活かす心理学講座」の受講申込はがきに必要事項をご記入の上、申込締切期日までに投函してください。
- 各開催会場やアクセスなど、詳しくは後援会ホームページまたは各個別パンフレットをご覧ください。

講演会

優秀な講師を全国各地に派遣し、気軽な講演会、フリーディスカッションなどを通じて家庭教育の重要性を認識していただき、ご父母の皆さんが身近な相談役としてご子弟の悩みなどに対応する能力を身につけていただくことを目的としています。

●講演

13時～14時20分

●質疑応答・フリーディスカッション

14時30分～15時10分

●受講料

無料

名古屋会場 7月19日⑩

テーマ **トイレと心理学**
—夢・恥・便所めし—



和氣洋美 先生

神奈川大学
名誉教授
博士／人文科学
専門／感覚知覚心理学

福井会場 7月25日⑩

岐阜会場 8月2日⑩

名古屋会場 9月12日⑩

テーマ **日本の家族関係と
社会構造**



吉田俊和 先生

岐阜聖徳学園大学
教育学部
教授
博士／教育心理学
専門／社会心理学

浜松会場 8月1日⑩

津会場 8月22日⑩

名古屋会場 8月23日⑩

テーマ **親子関係の生涯発達**

～親子の絆はどのように変化していくのか～



平石賢二 先生

名古屋大学大学院
教育発達科学研究科
教授
博士／教育心理学
専門／生涯発達心理学

青年期の心を理解する 家庭教育 支援セミナー



理工学部後援会福利厚生事業の一環として
講演会および心理学講座を実施。
家庭教育の重要性を再認識していただくとともに
ご子弟の悩みごとを受け止める能力を
身につけていただくことを目的としています。

理工学部後援会の活動

地区懇談会 会場のご案内

名古屋地区13:00より開催／津・大垣・浜松・松本・福井・岡山・福岡地区10:00より開催

参加お申込方法

- 名城大学理工学部後援会ホームページ／参加申込専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。受付は8月初旬から承ります。
- 出席はがき／8月初旬に郵送される「案内パンフレット」の申込はがきに必要事項をご記入の上、投函してください。

名古屋会場 10月3日⑩13:00

電気電子工学科・材料機能工学科
機械工学科(機械システム工学科)
交通機械工学科・メカトロニクス工学科

ホテル名古屋ガーデンパレス

名古屋市中区錦3丁目11-13
Tel.052-957-1022
「栄駅」1番出口より徒歩約5分
「伏見駅」1番出口より徒歩約8分



名古屋会場 10月4日⑩13:00

社会基盤デザイン工学科(建設システム工学科)
環境創造学科・建築学科

名古屋会場 10月18日⑩13:00

数学科・情報工学科・応用化学科

名古屋栄東急REIホテル(旧東急イン)

名古屋市中区栄3丁目1-8
Tel.052-251-0109
「栄駅」8番出口より徒歩約8分
「伏見駅」4番出口より徒歩約8分



福井会場 9月26日⑩10:00

福井市地域交流プラザ

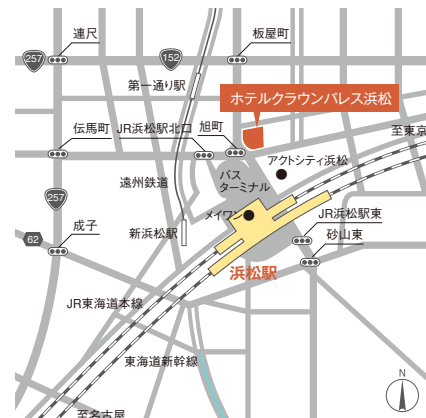
福井県福井市手寄1丁目4-1
Tel.0776-20-1535



浜松会場 9月27日⑩10:00

ホテルクラウンパレス浜松

静岡県浜松市中区板屋町110-17
Tel.053-452-5111



松本会場 10月11日⑩10:00

松本東急REIホテル(旧東急イン)

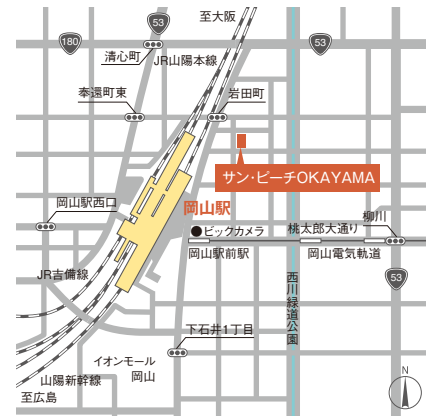
長野県松本市深志1丁目3-21
Tel.0263-36-0109



岡山会場 10月24日⑩10:00

サン・ピーチOKAYAMA

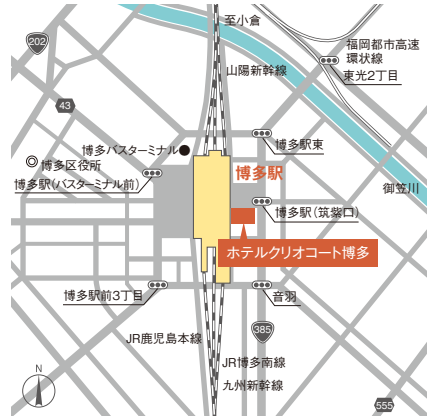
岡山県岡山市北区駅前町2丁目3-31
Tel.086-225-0631



福岡会場 10月24日⑩10:00

ホテルクリオコート博多

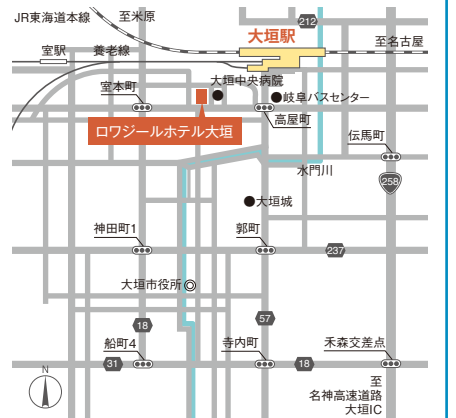
福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-3
Tel.092-472-1111



大垣会場 10月17日⑩10:00

ロワジールホテル大垣

岐阜県大垣市宮町1-13
Tel.0584-81-0111



津会場 10月31日⑩10:00

ホテルグリーンパーク津

三重県津市羽所町700
Tel.059-213-2111





こんにちは。名城大学理工学部後援会事務局です。

後援会事務局は常勤職員3名が常駐しています。事務局は11号館2階(11-221室)にあります。後援会に対して、ご意見などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。また、ご子弟の学生生活等について、不安などありましたらご相談に応じます。家計が急変された方もご遠慮なくご相談ください。なお、ご相談内容については秘密厳守いたしますので、ご安心ください。

Tel&Fax 052-831-9214 jimukyoku@meijo-rikokoen.jp

事務局に寄せられるよくあるお問い合わせ ☎

私たちがサポートします。

- 大学に通学しているかどうか分からない
- 今の状態で、就職できるのだろうか？
- 子どもの成績が芳しくない
- 最近、子どもがあまり話さなくなって心配
- 家計が急変し、経済的事情で就学が難しくなった

林 友美 契約職員
後援会事務局には、学生さんや先生方ほか、様々な方が訪ねていらつやいます。みなさんのお役に立てるよう、仕事に励む日々です。2年ほど前から趣味のひとつとして書道に取り組んでおり、筆を手に、心を鎮めています。その一方、高校生の娘と、劇団四季のミュージカルを観て心躍らせるひとときも、大切なリフレッシュの時間です。



【主な担当】 ● 後援会会計および事務全般 ● 地区懇談会・育英給費生制度・後援会寄贈図書・学生奨励表彰制度・名簿管理など

吉本 直美 会計幹事(事務局次長)

後援会業務以外にも研究者としての一面も持っています。人間科学博士も取得し、年に数回の学会発表もこなし、さらに多くの研究会にも参加しています。自己研鑽に忙しいながらも、趣味の時間も大切に、海外で語学の研修をするなどエネルギーに活動しています。さらに健康面の配慮から、ジムに通い、しっかり体力づくりをすることも忘れません。

堀 一貴 事務局長
人と話すこと、人と関わるのが大好きな、明るい性格です。笑つことを第一に考え、落語や漫才などを聴いて、皆さんに笑ってもらえる話術を勉強しています。吹奏楽については、名城大学ではおそらく一番詳しいとの自負もあります。aikofanであり、ライブの時に派手に踊っている姿は普段からは想像できません。また熱心な中日ドラゴンズのファンでもあり、後輩の山内壮馬くんを特に応援しています。

【主な担当】 ● 後援会事務全般 ● 会報・ホームページ・理工学部紹介ビデオなどの広報関係 ● 家庭教育支援セミナー・フレッシュマンセミナー・ご父母のための進路セミナーなど

定期総会の開催

平成27年4月1日(水)の入学式後、天白キャンパス11号館504教室において、名城大学理工学部後援会定期総会が開催されました。議案はすべて承認され、平成27年度会長には松原成生氏(環境創造学科4年父母)が選出されました。

理工学部後援会ホームページの制作

後援会活動や大学についての最新の情報を迅速にご父母の皆さんに提供するため、ホームページを制作しております。一度ご覧ください。また、地区懇談会や家庭教育支援セミナーの申込もホームページから行うことができますので、ぜひご利用ください。

http://www.meijo-rikokoen.jp ホームページとメールアドレスが新しくなりました！

会報誌「Scope」の発行

後援会活動の紹介、キャンパス、ご子弟の様子、父母の声などを掲載しています。

難関資格取得者に記念品を贈呈

学生が取得した資格の中で、難関資格を取得した学生に対し記念品を贈呈します。

就職活動の支援

理工学部子弟のための就職開拓活動経費の補助をします。

学生用図書の援助

学生の勉強の参考となる雑誌や図書の購入を援助しています。それらの書籍や雑誌は、気軽に手に取れるような場所(学科事務室や各研究室など)で管理していますので、積極的に利用してください。

後援会旗を制作

理工学部子弟が出場する部活やサークルなどの大会会場で、応援旗として活用します。

卒業記念品贈呈・卒業パーティー援助

会員子弟の卒業生全員に対し記念品を贈呈しています。

理工学部紹介ビデオを制作

「名城大学理工学部の紹介」ビデオを制作し、毎年開催される地区懇談会やその他のイベントなどで上映しています。これにより、ご子弟の大学生活や研究などについて深く知ることができます。

入学から卒業までを支援
その他の
活動紹介



理工学部後援会では、ここまでご紹介してきた以外にも定期総会をはじめ様々な支援・援助活動を行い、学生とご父母をサポートしています。



理工学部後援会の活動